

2011年7月 修習技術者研修会／先端複合技術研究発表会
主催 公益社団法人 日本技術士会 修習技術者支援実行委員会

1. 日時 平成23年7月9日(土) 13:00～20:00
2. 場所 日本技術士会 葺手第二ビル5F
3. 今月の課題 「行動原則」
－ 技術者倫理に関わる判断力向上を考える －

4. タイムスケジュールと講演内容

- 13:00～13:05 開会挨拶 修習技術者支援実行委員会委員長 小林進
13:10～14:00 講演1「企業倫理プログラム構築のポイント」
大来雄二(金沢工業大学 科学技術応用倫理研究所 客員教授)
14:00～14:50 講演2「倫理事例の学び方その2 - 事例の体系化で判断力を磨く-」
岡田恵夫(建設部門技術士:オカダ・アソシエーション)
15:00～15:50 講演3「日本技術士会倫理綱領から学ぶこと」
峯岸律子(倫理委員会委員:峯岸律子技術士事務所)
16:00～18:00 先端複合技術研究発表会
18:00～20:00 情報交流会

講演内容

講演1 大来雄二(金沢工業大学 科学技術応用倫理研究所 客員教授)

テーマ「企業倫理プログラム構築のポイント」

講演概要

企業は公正な手段で市場から得た利益を、出資家に還元すると同時に、事業活動に再投資して発展してゆくことにより、社会の健全な発展に貢献してきた。しかし、社会から企業に求められるものがそれ以上のもの、たとえば企業倫理の実践、になる傾向が強まっている。そのような社会からの要請に企業は計画的、組織的にどのように応じていったらよいか、そのポイントを紹介する。

講演2 岡田恵夫(建設部門技術士:オカダ・アソシエーション)

テーマ「倫理事例の学び方その2 - 事例の体系化で判断力を磨く-」

講演概要

良い判断は経験に由来する。では、経験は何に由来するのか?経験は悪しき判断に由来するのだ(Mark Twain『トム・ソーヤーの冒険』より)。この言葉は、「失敗から学ぶ」ことの必要性を巧みに言い表されている。事故・不祥事は多くの場合、何らかの「失敗」から生じる。しかし、私たち個人の大きな失敗経験はそれほど多くはない。また、他人の大きな失敗は、対岸の火事として受け流すことが多く、自らの失敗経験としては身に付きにくく、咄嗟の志向にはなかなか役に立たない。そうした中で、失敗事例の要素を体系化することで、事実の認識力、分析力、行動方針の策定力の向上を図る手法を具体的な事例で紹介する。

講演3 峯岸律子(倫理委員会委員:峯岸律子技術士事務所)

テーマ「日本技術士会倫理綱領から学ぶこと」

講演概要

平成23年3月、新しい「技術士倫理綱領」が理事会において承認されました。今回の改定では、字句修正にとどまらず、内容及び構成に大幅な変更を加え、時代に相応しいものを目指しました。倫理とは、コミュニティーのルール、言い換えれば、対人関係の規範です。新「技術士倫理綱領」では、基本綱領を「対人関係」と「価値基準」の組み合わせで構成されています。本講演では、技術士の対人関係とは、技術士が実際に意思決定を行う際の手がかりとなる「価値基準」とは何かを、新「技術士倫理綱領」の基本綱領を中心に学びます。

※上記、プログラムは変更となる場合がありますのでご了承ください。